

防犯活動日記

(12/9 南西部地域振興センター)

今回はふじみ野市の西鶴ヶ岡町会のパトロールにお邪魔し、お話を伺いました。



■子供の見守り活動を始めたきっかけは？

三角小学校から、通学区域の町内会などへ子供たちの見守りについて依頼がありました。

西鶴ヶ岡方面から三角小学校への通学路は、農道で暗かったり人目が少なかったり、交通量が多いのに歩道が狭かったりと、通学路としてはあまり安全な環境とは言えません。

そこで、子供たちの安全を守るために地域の老健なメンバーに声をかけ、今年7月中旬から活動を開始しました。

■パトロールはどのように行っていますか？

メンバー5人が輪番で、平日月曜日～金曜日、三角小学校に通う1年生～6年生の下校時間に合わせて下校時の見守りを実施しています。

都合が悪い日は当番を代わりあうなど、ゆるやかに行うようにしています。

当番は、ふじみ野市に提供していただいた緑色の防犯キャップとベストを着用して活動しています。

関越自動車道の側道の横断歩道など、大型車やスピードを出す車の往来が多く危険な箇所など

に立哨し、子供たちに声掛けをしながら見守っています。



■防犯活動をしていて何か大変なことはありませんか？

子供の下校に合わせて平日は毎日実施しているので、雨や風など天候が悪いこともあります。

先日は大型台風があり、その日の当番のかたは苦勞しましたね。



■どんな思いで防犯活動を行っていますか？

自身（藤本会長）の子供が小さかった頃はあまり地域活動に関わっていませんでしたが、改めて通学路に目を向けてみると、子供たちが安全に通学できていたのは、当時の地域のかたが見守ってくれていたおかげだと感じるようになりました。

今の子育て世帯は共働きが多く日中の見守りが難しいですし、最近は地域の高齢化も進み、通

学路の人目も少なくなっています。

今度は自分たちが地域の目となって子供たちを見守っていく番だと考えて、活動しています。



本日は、ご協力いただきありがとうございました。
今後ともよろしくお願いします！